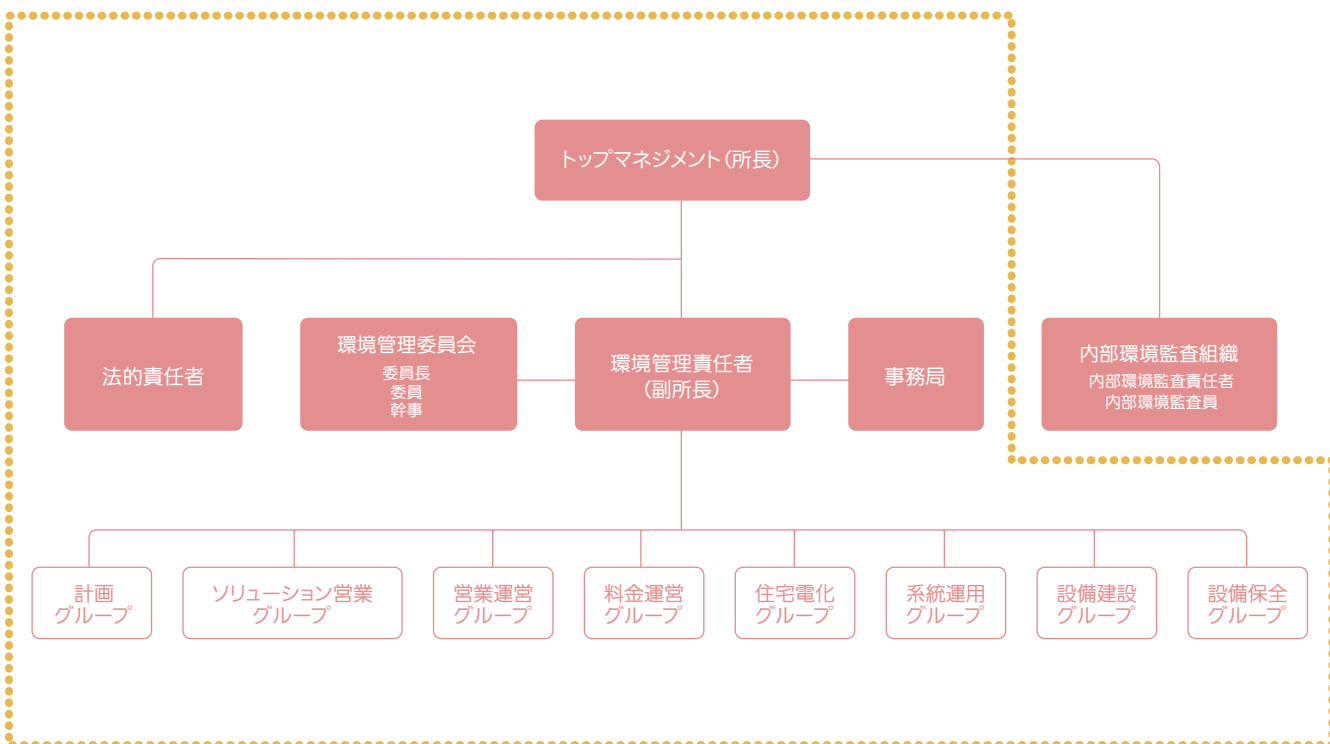


第2章／環境活動のしくみ

1. 環境マネジメントシステム

(1) 運用体制

所長をトップとして、所長が任命したEMSに関する責任者である環境管理責任者のもと、営業所職場で業務する所員が協力して環境活動を実施しています。

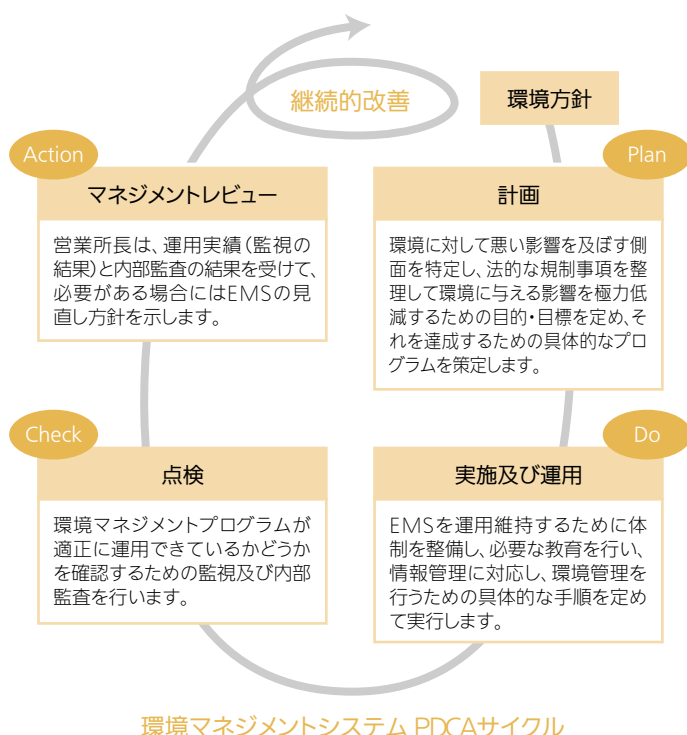


(2) 環境マネジメントシステムの導入とISO14001認証取得

佐賀営業所では、事業活動全般にわたって企業の成長と環境を両立させる「環境経営」を推進していくために、環境保全活動を継続的に実施、改善するための、体制や手順を含む体系的な仕組みである、環境マネジメントシステム (EMS) を導入しています。

EMSで環境保全活動についてPDCAサイクルを繰り返すことにより、営業所所員の環境に対する意識を高め、継続的な環境改善活動に繋がっています。

このシステムを2002年3月に導入し、6月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(3) 内部環境監査

営業所長が任命した「内部環境監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。この監査では、佐賀営業所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているか確認しています。

また、監査による指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

内部環境監査員資格取得状況

計画G	2
ソリューション営業G	3
営業運営G	2
料金運営G	1
住宅電化G	1
系統運用G	2
設備建設G	1
設備保全G	3
合計	15

(4) 教育・訓練

環境保全の重要性及びEMSを理解して活動していくために、EMSに関する教育、研修及び訓練を定期的に行っています。

※1 EMS内容教育

EMSに関しての所員の力量を確保するために行う教育で、年に1回全所員を対象にEMSの必要性、目的・目標の周知などを行っています。

※2 内部環境監査員養成研修

EMSのシステムが的確に運用されているか確認するための内部監査を実施する上で、監査員の力量を確保するために実施している研修です。

主な教育訓練

自覚教育	適切な訓練	力量の確保	項目	頻度	2007年度実績
○	—	—	EMS内容教育※1	1回/年	5~6月実施
○	—	○	環境管理責任者EMS専門研修	都度	2006年受講済
○	—	○	環境担当者EMS専門研修	都度	9月受講
—	—	○	内部環境監査員養成研修※2	都度	9~11月実施
—	○	—	緊急事態対応訓練	都度	消防訓練:11月実施 変圧器損壊対応訓練:12月・1月実施
—	—	○	技術訓練	10日/月	毎月実施

(5) 外部審査

2002年6月のISO14001認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に実行され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。

審査での指摘事項については、都度見直しを行い、継続的なシステムの改善に努めています。

2008年度は、認証の有効期間が3年であることから、2回目の更新審査を受審しました。

外部審査機関による受審の状況

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
認証取得	○						
更新審査				○			○
定期審査		○	○		○	○	



外部審査受審状況

(6) 2007年度EMS活動実績

2007年度における佐賀営業所でのEMS活動実績については、以下のとおりです。

ISO14001 要求事項	実施内容
4.3.1 環境側面	2007.3 著しい側面登録簿(環境管理責任者) 2007.3 緊急事態特定(環境管理責任者)
4.3.3 目的、目標及び実施計画	(目的、目標) 2007.3.7 全体目的・目標設定(所長) 2007.3.7 個別目的・目標設定(環境管理責任者) (実施計画) 2007.3.7 全体実施計画書策定(所長) 2007.3.7 個別実施計画書策定(環境管理責任者) 2007.3 EMS年度計画書策定(所長)
4.4.1 資源、役割、責任及び権限(環境管理委員会)	2007.5 2007年度全体目的・目標一部見直し 2007.12 環境管理基準改正 2008.3 2007年度EMS定期見直し
4.4.2 力量、教育訓練及び自覚	都度 EMS内容教育 都度 転入者教育 都度 取引先EMS教育 ほか
4.4.3 コミュニケーション(苦情処理)	EMS関連の苦情なし
4.4.5 文書管理(EMS文書改正履歴)	2007.4 環境管理基準定期見直し 2007.4 環境マニュアル定期見直し 2007.4 法規制登録簿定期見直し ほか
4.4.6 運用管理	1回/四半期 所長へ報告
4.5.2 順守評価	2007.12 法的及びその他の要求事項の順守評価実施
4.5.3 不適合並びに是正処置及び予防措置(改善提案処置)	2007.5他 2007年度目的・目標の見直し (旧規格コンクリート柱再使用未達成)
4.5.5 内部監査	2008.1 内部監査実施 2008.2~3 内部監査不適合是正措置(計画G)
4.6 マネジメントレビュー	都度 2007年度全体目的・目標の見直し 都度 環境管理基準・環境マニュアルの改正 ほか

2. 環境目的・目標の計画と実績

佐賀営業所では、環境に与える影響を極力削減するための目的・目標を定め、環境活動に取り組んでいます。また、ここに掲げる定量的な目標以外にも、全社における環境活動の具体的計画である「環境アクションプラン」に基づき、環境負荷を低減する取組みを所員一丸となって行っています。

(1) EMS目標と実績の推移(2006～2007年度)

当所における環境目標の内容と実績については、以下のとおりとなっています。

全体目的	全体目標	2006年度		2007年度		主改善施策
		目標	実績	目標	実績	
所内の使用電力量削減	所内の使用電力量削減	前年度比1.0%削減	2.4%	—	—	3事業所(佐賀支店、佐賀営業所、佐賀電力所)での取り組みのため、日常運用管理へ変更
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	継続事故11件以下	7件	お客さま当り停電時間1分	1分	変動の大きい事故件数からお客さま当りの停電時間に目標を変更
資源の再使用体制の確立	旧規格電柱の再使用	再利用率90%以上	88.4%	—	—	旧規格電柱の発生が不安定であり、目標として不適なため日常運用管理に変更
CO ₂ 排出抑制	オール電化住宅普及促進	普及2,410戸	2,457戸	普及2,700戸	2,950戸	2008年度からはCO ₂ 削減効果の高いエコキュートに特化した目標に変更 当社からの買電に切り替え可能な施設については獲得済のため、日常運用管理へ変更
	エコキュート普及促進	—	—	年1,000台	1,607台	
	自家発電り需要の獲得	2,000kW以上	3,025kW	—	—	
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	—	—	必要性認識向上10ポイント以上	23ポイント	実績見合いで目標値を変更

(2) 2008年度EMS目標

2008年度は、以下の内容を目標に掲げ、環境活動に取り組んでいきます。

全体目的	全体目標	2008年度目標
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	お客さま当り停電時間1分
CO ₂ 排出抑制	エコキュート普及促進	年1,679台
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	必要性認識向上20ポイント以上



エコキュート普及促進活動